

IV 普及・展示事業

1. 展示

広く一般多数の方々を対象とした東洋学の普及を図る手段として、「東洋文庫ミュージアム」を運営した。

A. 基本方針

このミュージアムでは、東洋学に特に興味を持たない一般の方々を主な対象とし、幅広い世代の利用者に、ミュージアム見学を通して東洋学に興味を持つ機会を提供する。本ミュージアムは、東洋文庫の蔵書・資料を中心に種々の展示企画を組み立て、常に新たな発見と変化のある展示を心がけている。

B. 展示手法

広く一般の方々にミュージアム訪問の興味を喚起するため、①見学に適切な規模の展示内容とし、②展示の解説は日頃東洋学とは疎遠な利用者にも十分理解できる簡易なものとし、③デジタル技術等を取り入れた視聴覚的かつ斬新な展示を心がけた。

C. 施設

温度・湿度管理、窒素ガス消火設備運用により、展示図書・資料の保全に万全を期した。また、併設のギフト・ショップ、ミュージアム・カフェでは、東洋文庫の所蔵資料も紹介し、一般利用者に対してミュージアムの魅力を高め、東洋学普及の一翼を担う、ミュージアムとの一体施設として運営した。

D. 展示スケジュール

名品展と企画展の組み合わせからなる展示スケジュールを立て、以下の展覧会を開催した。

- (1) 2020年度は同年1月末から開幕した「大清帝国展」をはじめ4つの展覧会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から6月23日まで臨時休館の措置をとった。これにより、当初予定していた会期を一部変更し、以下の展覧会をミュージアムで開催した。

〈企画展〉

- ①「大宇宙展一星と人の歴史」

会期：2020年6月24日～9月22日

※当初の5月27日～9月22日の日程から変更

- ②「三菱創業一五〇周年記念 岩崎文庫の名品―東洋の叡智と美―」

会期：2020年10月7日～2021年1月17日

- ③「大清帝国展 完全版」

会期：2021年1月27日～4月25日

※当初の1月27日～5月16日の日程から変更

〈名品展〉

「記録された記憶～東洋文庫の書物からひもとく世界の歴史」

- (2) 各企画展において展示図録を作成した。全ページカラーで図版を多用し、解説文も平易でわかりやすいものに仕上げた。A5版でハンディなブックレットタイプである。
- (3) 幅広い年齢層にミュージアムを楽しんでいただくために、学習支援事業の一環として、上記企画展会期中に公開講座（企画展示記念講座）・イベントを開催した。詳細はp.86を参照。

E. 入場者数

2020年4月1日～2021年3月31日における、ミュージアム総入場者数は以下のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入場者数	0	0	522	1,787	2,086	2,583
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1,914	3,508	1,837	1,214	2,113	2,225	19,789

2. 広報普及

東洋文庫所蔵の図書・資料の掲載・報道・放映等の依頼に適宜対応すると共に、ホームページを随時更新し、利便性を確保した。東洋学の幅広い層への普及を目指し、地域および学校との連携活動も行った。

A. 報道実績

ミュージアムに関する報道実績の主なものを以下に挙げる（50音順）。

新聞：『朝日新聞』、『カトリック新聞』、『週刊仏教タイムス』、『日本経済新聞』など

テレビ：NHK『あさいち』、テレビ東京『出沒！アド街ック天国』・『東京 Good!』、BS テレ東『ニッポン創った明治の三賢人～渋沢・岩崎・福沢にみる「革新力」』など

B. 『東洋見聞録』

東洋文庫の活動をご支援いただいている「名誉文庫員」、「友の会会員」、職員 OB ほか関係者をつなぐニュースレターとして、第27号～第29号を発行・頒布した。

C. メールニュース

東洋文庫ミュージアムのメールニュースをメール会員向けに毎月発信した。

D. 中学・高校・大学とのミュージアム・フリーパス連携

- ・東京都立小石川中等教育学校とのミュージアム・フリーパス連携を引き続き締結した。
- ・青山学院大学文学部史学科・大学院文学研究科史学専攻、東洋大学文学部・大学院文学研究科、昭和女子大学人間文化学部歴史文化学科および日本語日本文学科とのキャンパスパートナーシップを引き続き締結した。

E. 学習支援事業

- ①東京藝術大学との協力協定により、同学彫刻科の卒業作品から1作品を選出して「東洋文庫賞」を授与し、2020年7月から東洋文庫敷地内のシーボルト・ガルテンにて作品を展示した。
- ②昭和女子大学との「東洋文庫 Student Internship Program」により、10月12日～10月31日の期間で、同大学の学生5名をインターンとして受け入れた。
- ③東洋女子高等学校の1年生6名を対象に見学会を行った（10月22日）。
- ④キャンパスパートナーシップを結んでいる青山学院大学文学部史学科の学生2名を、11月18日～11月27日の期間で学芸員実習生として受け入れた。
- ⑤キャンパスパートナーシップを結んでいる東洋大学文学部の学生2名を、12月3日～12月11日の期間で学芸員実習生として受け入れた。
- ⑥筑波大学附属視覚特別支援学校の中学3年生女子2名を対象に、東洋文庫ミュージアム運営に関する職場体験を実施した（11月6日）。

F. 成蹊大学との連携授業

成蹊大学との連携科目として、2020年度後期に文学部総合講義「展示から探る歴史・文化（岩崎文庫展）」を担当した。ミュージアムの展示やデータベース・出版物を通じた研究成果の発信などの活動を紹介し、東洋文庫の諸活動の意義について理解を深め、アジアの歴史・文化への関心を高める機会となった。2021年度も引き続き東洋文庫の諸活動を紹介する科目を担当する予定。

G. 文京区向けの普及活動

加盟している「文の京ミュージアムネットワーク（文京区主催）」による文京ミューズフェスタに参加した。今回はコロナ禍での開催のため、チラシおよびパンフレットの配架のみとなった（12月15日～12月20日、於：文京区役所1F）。

H. 東洋文庫アカデミア

東洋文庫研究員をはじめとする各分野の専門家が講師となり、所蔵資料や

これまでの研究成果などの専門知識をわかりやすく教授する市民向け講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。